

2024年12月11日

2024年11月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は仕事量の減少もあり、小ロット物件が中心で前年を下回った。

巻取は学参、生損保、チラシ関連に大口案件がみられず前年を下回った。

（前年比 平判 90.4% 巻取 89.8%）

再生紙平判は役所、官公庁関連の入札案件の減少により前年を下回った。

巻取も定期案件以外は目立った動きもなく前年を下回った。

（前年比 再生上質平判 81.4% 再生上質巻取 86.9% 再生上質計 84.3%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 90.3%）

<A2 コート>

平判は、国内旅行とインバウンド需要の拡大が続いており、関連の印刷物は堅調の状況が続いている。また、イベント、エンタメ関連もコロナ前と同等の状況に戻っているが、ペーパーレス化の影響もあり販売量増加の後押しにはなっていない。カタログ、雑誌関連はページ減、ネット化、廃刊の動きは続いており、グロス、マット共に前年を下回った。

巻取は、スーパー、家電量販店、食品デリバリー等で一部動きがみられたが、不動産関連チラシ、カタログ、定期雑誌等においては落ち込みが続いており、グロス、マット共に前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 97.3% 巻取 76.7% 全体 93.2%）

<A3 コート>

スーパー、ドラッグストア、旅行、食品デリバリー、イベント等スポット案件のチラシで動きがみられたが、学習塾、金融・生損保関連チラシ、商品カタログの落ち込みが続いており、平判は前年を上回ったが、巻取は前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 105.0% 巻取 79.5% 全体 87.8%）

<ノーカーボン紙>

平判は歳末商戦の手書き申込書や金融・生損保の細かな案件が動き、前年を上回ったが、

巻取は官公庁案件の部数減や民間案件、生損保の窓販帳票も低調で大幅に落ち込んだ。

（前年比 平判 104.5% 巻取 57.5%）

<上質フォーム>

保険証に代わる資格確認書案件や自治体の通知物に動きがあり、前年を上回った。

(前年比 105.4%)

<包装用紙>

封筒関係は株式・役所向け案件である程度の動きはあったものの、全般的な動きとしては低調であった。純白ロールはスーパーマーケットの包装紙が堅調な事と、御年賀の包装紙が動いており、前年を上回った。

(前年比 103.1%)

<板紙>

コートボールは菓子、日用品は前月に引き続き低調であったが、食品関係は冬物の季節商品等があり堅調であった。

特板の化粧品用途は中国の景気減退による影響で輸出が振るわず、コンビニ向けも食品ロスの問題から在庫調整が行われたが、前年並みであった。

高板はトレーディングカードの在庫調整が入り、先月程の伸びはないが未だ堅調であった。

チップは菓子等の商品の値上げやチョコレートの原料のカカオなどの高騰により、パッケージの見直しによる規格変更などで使用面積減少等の要因で低調であった。

全体的には前年を若干上回った。

(前年比 101.0%)